

# アグアスだより

2014年3月号

## 子どもの見方に立って

先日、ある保護者の方からお礼をいわれました。「娘が先生に台上前転を教えていたでいて、できるようになったと喜んでいました」とのこと。最初は何のことだろうと思いましたが、すぐに思い出しました。校内巡視をしていて、たまたま体育の授業を見かけて、跳び箱の練習を手伝ったことがあります。そのときの事だったのです。子どもたちが台上前転の練習をしていたので、「あごを引いておへそを見ながらダンゴムシになろう」と助言しました。みんなすぐにできるようになったので、もともとできる子たちの集まりかと思っていました。事実、そのグループは、その後、さらに上級の台上前転にも挑戦していました。でも、その子は、日記にも書いていたとのこと、よほど嬉しかったに違いありません。子たちにとって、跳び箱ができるようになるということは、特別な意味があるのかもしれませんが。

私にも経験があります。跳び箱を前にした先の子は、まさに断崖絶壁に立たされた心境だったことでしょう。しかし、思い切ってやって、台上前転ができたとき、逆に、自分の可能性を実感したのではないのでしょうか。私たち大人にとってはささいなことでも、子どもにとってはそれほどの転機になることだったのです。おそらく、この経験は、その子の学習や生活すべてに自信を与えたはずで、跳び箱に限らず、学校で

も家庭でも、こうした成功体験を数多くさせたいものです。そのためには、できない子の見方に立って、指導の工夫をすることが大切だと考えます。

こうした子ども理解のヒントになる、自身の経験があります。かつて、久しぶりに田舎の町に里帰りしたときのことで、子ども時代に遊んだ田や山や川に行ってみたのです。そのときの田舎の山や川、神社の階段、木登りした木は、どの光景も小さいころに見たときのままでした。しかし、風景はまったく同じでも、それぞれの大きさが驚くほど違っていました。子どものころ泳いだ川は、私にとっては大河で、激流でした。流れが急で必死に泳いでもなかなか向こう岸にたどり着けない、そのような川だと思っていました。神社の階段も同じでした。山のてっぺんに続く階段は、いきせき切って登っても、なかなか着かない。なんと急で長い階段だろうと思っていました。また、こわくて、へっぴり腰で登った木は、目も眩むほどの高さでした。私はずっとそう思っていたのです。しかし、目の前の川や階段、木はどれもまるでミニチュアのような大きさです。大人の私にとっては、ひとまたぎ、ふたまたぎの大きさ、高さなのです。まさにガリバーの心境でした。よく「子どもの目線で」といいます。そこで、しゃがんで風景を見てみました。それでも同じでした。大人の見る目と子どもの見る目には、これほどにも差があるものなのかと、思い知らされました。もしかすると、

現在、日本人学校で学んでいる子どもたちも、大人になって再び学校に来たなら、「なんて小さな校舎で生活していたのだろう」と驚くかもしれません。

このことから、私たち大人は、子どもに学習や仕事をさせるとき、知らず知らずのうちに、大人の見る大きさ、感じ方、好み、価値判断を基準にしているのかもしれないと思いました。大人にとってはあつという間にできること、簡単なことでも、子どもにとっては立ちふさがる大きな壁であったり、険しく長い道のりであったりすることもあるのかもしれません。「どうしてこんなことができないの。やる気がないんじゃないの?」。大人の尺度だけで子どもに接していると、どうしてもこのような叱咤激励になりがちです。私たち大人が、子どものサイズを想定して物事を見るようにすると、学校での指導や家庭でのしつけも、ずいぶんと変わるのではないかと考えさせられました。

### 今年度をふり返って

本年度も終わろうとしています。小6と中3は、14日の卒業式で本校を卒業し、中学生、高校生としての道を歩み出します。在校生は、今の学年を修了して、4月には新たな学年で新学期を迎えることになりました。

本年度1年間を振り返ると、校長として、「できたこと」「できなかったこと」が胸中を去来します。反省もありますが、学校としてやり遂げたことも、いくつかあったと思います。以下のような点です。

- 1 授業の質を高めるために、教員の校内研修制度を充実させた。

- 2 社会科副読本を完成させた。
- 3 教科年間指導計画を新しくし、充実させた。
- 4 アグアタイムの研究を行い、実践報告会で成果を発表できた。
- 5 アグア市内の施設と交渉し、社会科見学や生活科見学を行った。
- 6 学力・体力・生活・健康の実態を調査し、問題解決のための取り組みを行った。
- 7 体育集会・早朝マラソン・パルケマラソンを実施し、子どもたちの体力アップを図った。
- 8 子ども間のトラブルや「いじめ」などへの早期発見・初期対応に努めた。また、「休み時間の見守り」や「バス乗車指導」等を行った。
- 9 長期休業中の補充指導の充実を図った。
- 10 校内安全点検、施設設備の管理、教材備品の整備に努めた。
- 11 運動会、日本祭を成功させた。

保護者、理事会、関係諸氏のご理解とご支援にあらためて感謝申し上げます。今後とも、こうした取り組みを、教職員と共に進めていく考えです。来年度もどうかよろしくお願い致します。

### 3月学校行事

- 3日(月) パルケマラソン大会
  - 5日(水) 全体保護者会、学級懇談会
  - 11日(火) 大掃除
  - 12日(水) 送る会
  - 14日(金) 修了式、卒業式、離任式
  - 15日(土) 春季休業開始
  - 17日(月) 祝日
- ◎ 4月10日(木) 着任式,始業式,入学式